

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ



株 主 通 信

2021年度 中間報告書

2021年4月1日から2021年9月30日まで

Contents

ページ

- 1 トップメッセージ
- 3 グループ長期ビジョン
- 5 SDGs経営と価値創造(社会的価値の創出)
- 7 新型コロナウイルス感染症への対応
- 8 2021年度上半期のグループ各社の取組み
- 11 グループトピックス
- 12 業績ハイライト

株式会社 T&Dホールディングス

証券コード: 8795

トップメッセージ

株主のみなさまにおかれましては、
日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに「2021年度 中間報告書(株主通信)」を
お届けしますので、ご高覧くださいませよう
お願い申し上げます。

2021年12月



株式会社T&Dホールディングス
代表取締役社長

上原弘久

Q1 新型コロナウイルス感染症への対応と中間期の業績について教えてください。

新型コロナウイルス感染症に罹患された方とご家族のみなさま、事業等に影響を受けておられるみなさまに心よりお見舞い申し上げます。当社グループでは、新型コロナウイルスに感染されたお客さまに少しでもご安心いただくために保険金等の迅速なお支払いを実施するほか、各種手続きの特別取扱いを行っております。また、コロナ禍でデジタル化が急速に進展するなかにおいて、新たな営業スタイルや働き方

の実現・定着を進めております。

2021年度中間期の決算では、グループ合算の新契約年換算保険料は613億円(前年同期比126.7%)となりました。また、株主還元対象利益となるグループ修正利益は資産運用収益が好調に推移したことから、557億円(同165.5%)となり、通期業績予想を930億円(当初予想730億円)に上方修正しております。

Q2 グループ長期ビジョンへの想いについて教えてください。

コロナ禍で不確実性が増すなか、社会環境や人々の価値観が大きく変容しております。このようななかで、グループの長期的な企業像とその到達に向けた戦略方針を示す、グループ長期ビジョン「Try & Discover 2025」を策定いたしました。このビジョンを通じてグループ共通の価値観を醸成するとともに、ビジョンに沿ったアクションプランをグループ各社が実践することで、持続的な成長を実現していきたいと考えております。

また、グループ長期ビジョンの策定とあわせて、グループ経営ビジョンを「保険を通じて、“ひとり”から、世の中のしあわせを

つくる。ていねいに向き合い、大胆に変えるグループへ。」に一新いたしました。これまで以上に1人・1社のステークホルダーのみなさまと丁寧に向き合うことでさまざまな変化を感じとり、従来の枠組みにとらわれない大胆な挑戦につなげていく、という想いを込めております。



経営ビジョンのイメージビデオは、右記のQRコードまたは下記のURLから視聴可能です。
<https://www.td-holdings.co.jp/group/vision.html>



Q3 株主還元方針について教えてください。

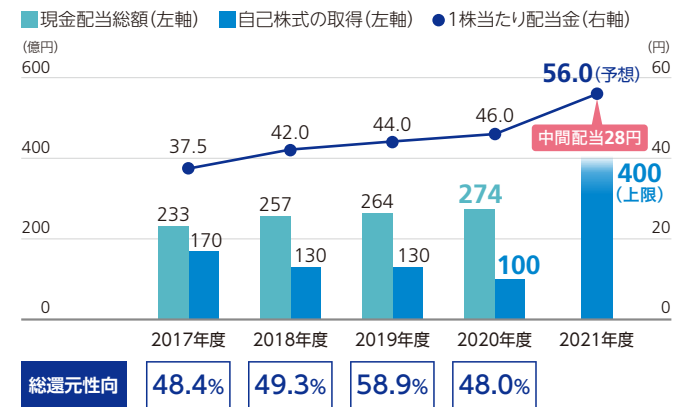
当社及びグループ会社の経営の健全性維持に留意し、グループとして必要な内部留保を確保したうえで株主価値の向上に取り組み、安定的な利益配分を実施していくことを基本方針としております。

2021年度の中間配当は1株につき28円、期末配当を含む2021年度の年間配当予想は2020年度より10円増配となる1株につき56円となります。

また、2021年11月より取得価額上限400億円の自己株式取得を行っております(取得期間:2021年11月~2022年5月)。

今後も収支の状況や自己資本の状況を踏まえ、引き続き株主還元の充実に努めていきたいと考えております。

株主還元実績



グループ長期ビジョン「Try & Discover 2025」

～すべてのステークホルダーのしあわせのために～

T&D保険グループは、グループが長期的に目指す姿とその到達に向けた戦略方針を示す、グループ長期ビジョン「Try & Discover 2025」を策定しております。グループ共通の価値観を醸成し、ビジョンに沿った成長戦略を実践することで、持続的な成長を実現してまいります。

計画期間	● 2021年4月～2026年3月(5年間)
経営ビジョン (目指す姿)	● 保険を通じて、“ひとり”から、世の中のしあわせをつくる。ていねいに向き合い、大胆に変えるグループへ。
成長ストーリー	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな「グループKPI」の設定により、資本効率を伴った成長ストーリーを推進 <ol style="list-style-type: none"> ① ROE視点での国内生保事業の筋肉質化(特化戦略の“深化”) ② 高ROEかつ成長性のある新規領域への積極的な投資(成長領域の“探索”) ③ グループシナジーの追求による新たなグループ経営のステージへの飛躍 →利益拡大による資本効率の向上を実現し、バリュエーションを改善

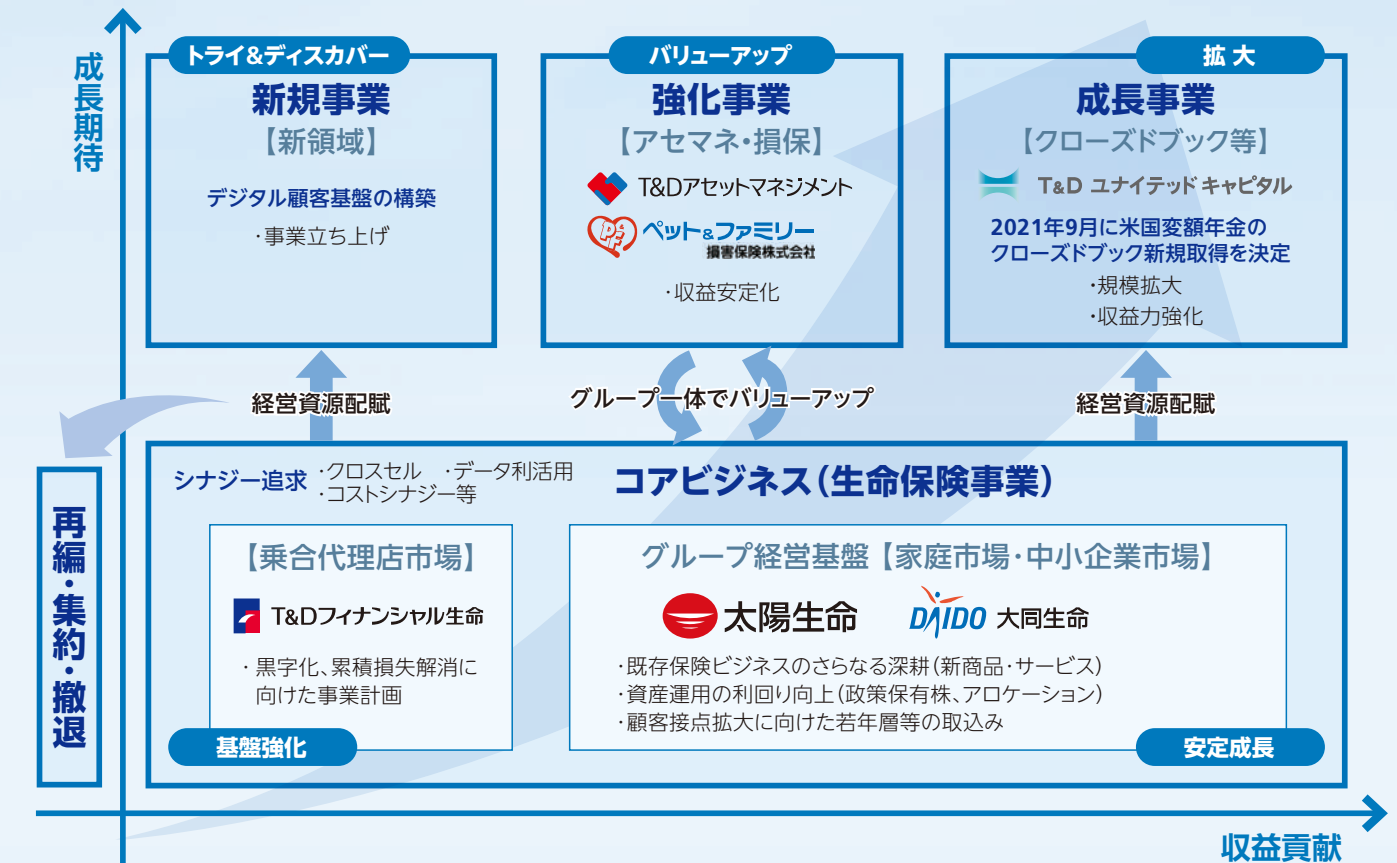
グループKPI

- グループ長期ビジョンでは、「目指す姿」の実現に向けた定量目標として、財務KPIと非財務KPI (KPIは、いずれも2025年度の到達目標)を掲げております。
- 財務目標の追求だけでなく、生命保険事業等を通じて、健康寿命の延伸や中小企業の事業承継といった社会課題の解決に取り組み続けるグループでありたいと考えております。



グループ成長戦略(戦略マップ)

- 資本効率性を向上させ強固な経営基盤と競争優位性を確保するため、グループのコアビジネスである生命保険事業の強化に加え、事業ポートフォリオの多様化・最適化に取り組んでまいります。
- 直近の取組みとしては、2021年9月にT&Dユナイテッドキャピタルが25%出資する米国再保険持株会社フォーティテュード社において、米国変額年金のクロズドブックを新たに取得することを決定しております(取引金額は約1,645億円、取引完了は2022年上半期中の見込み)。
- 多様な事業分野・組織に対して適切なガバナンスを発揮することで、グループ全体で環境変化に対応しつつ持続的な成長を実現してまいります。



SDGs経営と価値創造(社会的価値の創出)

T&D保険グループは、「価値の創造を通じて人と社会に貢献するグループを目指す」ことをグループの経営理念としております。幅広い分野の課題の取り組みを通じて持続可能な世界を実現しようとする世界共通の目標であるSDGs*と、当社グループが経営理念に基づき目指すところは同じです。

引き続き、本業を通じてSDGs達成に貢献すべく選定した4つの「サステナビリティ重点テーマ」に基づき、事業の特徴や強みを活かしたサステナビリティ推進の取り組みを通じて、社会的価値の創出を実現いたします。

*SDGs:Sustainable Development Goals。2015年国連サミットで採択された持続可能な世界を目指して取り組む17の目標。

【各テーマにおける行動の例】

重点テーマ 1

すべての人の健康で豊かな暮らしの実現

- 認知症の予防をサポートする保障、要介護状態を幅広く保障する保険の提供
- 中小企業による「健康経営®」*実践を支援する活動
- デジタルとリアル(インターネットによる保険申込みと人によるサービスの提供)の融合
- シニアのゆとりあるセカンドライフのための資産形成型商品の提供等



*「健康経営®」は特定非営利活動法人 健康研究会の登録商標です。

重点テーマ 2

すべての人が活躍できる働く場づくり

- OJT、集合研修、自己啓発支援等、人材の活用と育成
- 管理職登用や育児サポート制度整備など、女性の活躍を支援する取組み
- 在宅勤務や労働時間縮減、休暇取得促進等、仕事と家庭を充実させる働き方刷新の取組み
- お取引先企業の従業員さまが健康で安全に働ける環境づくりのお手伝い



重点テーマ 3

気候変動の緩和と適応への貢献

- TCFDの提言に賛同し、気候関連財務情報を開示
- グループ共通CO2排出量削減目標の設定
- 電力使用量削減、事務用紙使用量削減の取組み
- 環境保護に資するグリーン購入の取組み
- 森林を守り育てる活動
- 地球環境の保護に取り組むNPOとの協働・支援

重点テーマ 4

投資を通じた持続可能な社会への貢献

- 新型コロナウイルス対策に貢献する各種「ソーシャルボンド」への投資
- 環境問題の解決に貢献する「グリーンボンド」への投資
- 再生可能エネルギー発電事業等への投資
- 水不足問題を解決する事業への投融資
- 発展途上国の青少年育成支援、雇用支援に貢献する投融資
- 人々の健康の増進に寄与する事業への投資

詳細については、サステナビリティレポート2021をご覧ください。
<https://www.td-holdings.co.jp/csr/report/>

【統合報告書とサステナビリティレポートの発行】

2021年9月、T&D保険グループの各種取組みを報告する「統合報告書」「サステナビリティレポート」を発行いたしました。

<統合報告書> <https://www.td-holdings.co.jp/ir/document/annual/>

- ・T&D保険グループの事業や取組みが、グループの中長期的な成長やステークホルダーのみならずみなさまへの価値創出にどのように結びついているか、ESG(環境・社会・企業統治)の観点を踏まえ、分かりやすく説明することを目的に作成しております。
- ・今回は、2021年度を始期とした5年間のグループ長期ビジョン、その長期ビジョンの要素であるグループ経営ビジョン、グループ成長戦略、グループKPIを詳述するとともに、T&D保険グループの特徴、競争優位の源泉である資本や、ガバナンス等について報告しております。



<サステナビリティレポート> <https://www.td-holdings.co.jp/csr/report/>

- ・T&D保険グループの「共有価値の創造」とサステナビリティの考え方、2020年度のサステナビリティ/CSR(企業の社会的責任)の主な取組みについて、幅広いステークホルダーのみならずみなさまに報告することを目的に作成しております。
- ・主にお客さま・一般消費者のみならず・従業員等を対象に、写真や図表を用いてわかりやすく概要をまとめた「ダイジェスト編」と、主に投資家・ESGアナリスト等を対象として、GRI(Global Reporting Initiative)スタンダードに準拠した「フルレポート」の2種類を発行しております。



【CO2排出量削減目標の設定】

2021年5月に策定した「グループ長期ビジョン」の非財務KPIとして、CO2排出量(自社排出のScope 1・2)を2025年度までに2013年度比40%削減する目標を設定いたしました。2021年9月には、2050年度までにネットゼロとする目標を追加設定いたしました。

また、当社グループは責任ある機関投資家として、投融資先によるCO2排出量(Scope 3、カテゴリー15)についてもネットゼロ目標の対象といたしました。

対象	目標
自社排出 (Scope 1・2)	2025年度まで:40%削減 (2013年度比) 2050年度まで:ネットゼロ
投融資先排出 (Scope 3、カテゴリー15)	2050年度まで:ネットゼロ ※中間目標は今後設定。

*当社グループでは投融資先のCO2排出量削減に向け、排出量の把握及び今後の影響について、継続的に分析を行っております(2020年12月末時点におけるCO2排出量は約217万t)。

【日経ソーシャルビジネスコンテストへの特別協賛】

ーソーシャルビジネスへの貢献ー

T&D保険グループは、日本経済新聞社が開催する日経ソーシャルビジネスコンテストへ特別協賛しております。当コンテストは、ソーシャルビジネスの健全な発展と一層の理解促進を目指し、同分野にチャレンジするプレーヤーを増やすことを目的としております。当コンテストへの協賛を通じて、社会の課題に挑戦して社会に価値を創造しようとする次代のリーダーを応援し、共に持続可能な社会の発展に貢献していきたいと考えております。



当社の取組みについての詳細は当社ホームページをご参照ください。
<https://www.td-holdings.co.jp/group/brand/index.html>

新型コロナウイルス感染症への対応

当社グループでは、新型コロナウイルス感染症への対応として、さまざまな取り組みを行っております。一日も早い収束を願い、今後もグループ一丸となった取り組みを続けてまいります。

【お客さまへの対応】

新型コロナウイルス感染症が広がるなか、個人や中小企業のお客さまへコロナ禍に対応した商品を提供しております。また、お客さまに安心を届けるため、生命保険事業における保険金・給付金のお支払いをはじめ、お客さまにとって欠かすことのできない金融サービスを安定してご提供できる体制を継続しております。



【従業員への対応】

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインツールの導入といった社内環境の整備を行い、在宅勤務を拡大するなど対応しております。また、お客さまの安全への配慮から、非対面募集により対応するなど、従業員が安心して働ける環境の維持に努めております。



保障の提供

- 新型コロナウイルス感染症による入院も保障する『感染症プラス入院一時金保険』をいち早く提供(太陽生命)
- 株式会社justInCaseと協働して『コロナ助け合い保険』を無償で提供(期間:2020年10月~2021年9月)(大同生命)

サービスの提供

- 保険料払込猶予期間・契約更新手続き期間の延長
- 保険金・給付金、契約者貸付金の簡易迅速なお支払い
- 医療機関の事情などにより、自宅その他の施設で治療を受けた場合でも、一定の要件のもと入院給付金をお支払い
- 新型コロナウイルス感染症による死亡の場合、災害死亡保険金をお支払い

社内環境の整備

- 在宅勤務やサテライトオフィスを活用したテレワークの推進(緊急事態宣言下においては出勤率を30%に制限)
- 時差出勤の推進
- リモート会議ツールの活用

営業現場での対応

- 非対面募集を可能とするシステム・ツールの導入
- 訪問希望があるお客さま、及びアポイントを取得し訪問を了承いただいているお客さまのみ訪問活動を実施

大阪府・大同生命接種センターを設置

大同生命は、「大阪府民の健康維持」に資するため、大阪府の要請にお応えし、大同生命大阪本社ビルに「大阪府・大同生命接種センター」を設置いたしました。(接種期間:2021年10月11日~2021年11月19日)



2021年度上半期のグループ各社の取り組み



保険で病気を予防する『がん・重大疾病予防保険』を新発売

2021年6月に発売した当商品は、がんや重大疾病を保障することに加え、生存給付金特則を付加することで、ご契約の1年後から2年ごとに「予防給付金」をお受け取りいただけます。この「予防給付金」を「アミノインデックス®リスクスクリーニング」*1や「子宮頸がんHPV検査パピックス」*2等の疾病予防サービスにご利用いただくことで、お客さまのがんや重大疾病

への早期予防・早期発見につなげることができます。病気を予防する保険を通じて、人生100歳時代の「元気・長生き」をサポートしてまいります。

- *1 味の素株式会社が開発した「現在、がんである可能性」と「将来、脳卒中・心筋梗塞、糖尿病になるリスク」を一度に評価することができます。
- *2 株式会社ジェネティックラボが提供する子宮頸がんの原因とされる高リスク型HPV(ヒトパピローマウイルス)の感染有無を自宅で簡単に調べることができます。



「デジタル由来」の情報を活用した新たな提案活動を展開

インターネット完結型保険「スマ保険」等、「非対面」のサービスを充実し、お客さまの多様なニーズに対応しております。

また、「スマ保険」のWebサイトやテレビCM・インターネット広告等を経由した「デジタル由来」の情報を営業職員が活用することで、「対面」「非対面」を融合した新たな保険加入スキームを展開しております。これにより、すべて「非対面」でお手続きが可能のほか、一部プロセスで「対面」をご希望されるお客さまのご要望にもお応えできるようになっております。

「デジタル由来」の新規契約件数は上半期で前年の約3倍となり、営業職員チャネル全体に占める割合が1割を超えるなど、ご好評いただいております。



「スマ保険」専用ページはこちらです。
https://www.taiyo-seimei.co.jp/net_lineup/

「太陽生命マイページ」がますます便利に!~利用対象者を拡大~

お客さま専用インターネットサービス「太陽生命マイページ」では、契約内容照会や改姓手続き、入院給付金のご請求手続き等をインターネット上で行うことができます。

2021年10月には、マイページの利用対象者を国内主要生保初*3となる「ご契約者さま」だけでなく、「被保険者さま」*4に拡大し、各種お手続きが「被保険者さま」にもご利用いただけるようになるなど、利便性向上に努めております。

今後もDXの推進により、「安全・安心」で「迅速・簡単・便利」なサービスを展開してまいります。

*3 国内生命保険会社9社において被保険者さまが「マイページ」サービスをご利用できるのは初となります(2021年10月7日時点において当社調べ)。

*4 「契約者≠被保険者」のご契約形態の被保険者さま(成年者)。なお、契約内容、年齢等により、利用対象者になれない場合があります。



被保険者さまが
ご利用できるマイページは
国内主要生保初!



中小企業のSDGsへの取組みを応援するために「DAIDO Sustainability INITIATIVE」の開始

2021年11月から、中小企業がSDGsへの理解を深め、サステナビリティ経営に取り組むことを後押しする「DAIDO Sustainability INITIATIVE」(ダイドウ・サステナビリティ・イニシアティブ)を開始いたしました。

大同生命では、これまでも、社会のニーズに応える商品・サービスの提供や「KENCO SUPPORT PROGRAM」による「健康経営®」*の推進等、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献する

取組みを進めてきました。

政府による2050年カーボンニュートラル宣言等、近年の環境変化を踏まえ、中小企業におけるサステナビリティ経営の実践を後押しすることで、持続可能な社会の実現に一層貢献してまいります。

*「健康経営®」は特定非営利活動法人 健康研究会の登録商標です。

サステナビリティ経営支援プログラムの概要

本プログラムでは、地域や業種を越えて、さまざまな中小企業経営者がサステナビリティ経営の意義を共有し、技術やアイデアを持ち寄ることで、温暖化や気候変動等の社会課題に関するソリューションの活用や新たな企業間連携の創出を目指します(オンラインで実施)。

- ① サステナビリティ経営のご紹介: 有識者による解説、ソリューション企業のプレゼン
- ② 実践方法のご案内: ソリューションを提供する企業のご紹介
- ③ 活用サポート: ソリューション活用に向けたワークショップを開催
- ④ 事例共有: 参加企業による実践・協業事例の共有

*本プログラムは、Plug and Play Japan 株式会社の支援を受けて運営。



すべての保険加入でリモート手続きが可能に「つながる手続」の利用対象を拡大

お客様の利便性向上や、ウィズ・コロナにおける“新しい生活様式”に適応するため、お客様ご自身のスマートフォンやパソコンでお手続きいただける「つながる手続」を2020年9月に導入いたしました。

以降、段階的に利用対象の拡大に取り組み、2021年10月にはすべての保険加入手続きでのリモート化を実現いたしました。法人向けの保険契約での完全リモート化は業界初となります。

今後、保険加入のお手続きに加え、各種ご請求手続きについても順次導入してまいります。

リモート手続きで不明な点があれば、オペレーターが画面共有しながら操作をサポートしますので、安心してお手続きいただけます。



ゆとりあるセカンドライフのための生活資金の準備や遺族保障等のニーズに応える資産形成商品、ご加入いただきやすい価格の保障商品をお届けしております。今後も引き続き、お客さまにご満足いただけるより良い商品・サービスの提供に努めてまいります。

『働くあなたにやさしい保険2』発売

『働くあなたにやさしい保険』をリニューアルし、2021年2月に販売開始いたしました。

三大疾病やケガによる継続的な収入減少にそなえる「年金コース」、三大疾病による治療費などの一時的な支出増加にそなえる「一時金コース」の2つのコースからご選択いただけます。



『ハイブリッドアセットライフ』発売

「投資信託」と「生命保険」の融合をコンセプトとした円建の一時払変額終身保険で、2021年6月に販売開始いたしました。

長期分散投資や計画的な資産取崩しなど「人生100年時代」のための資産形成をサポートしつつ、介護・認知症や相続にそなえることができる商品となっております。



T&Dアセットマネジメント

T&D保険グループの資産運用会社として、特長のある運用商品やサービスの提供により多様化する資産形成ニーズに応えることで、社会課題の解決に寄与してまいります。

この一環として、2021年3月にホームページを全面的にリニューアルし、投資信託の基礎知識や用語集、将来の運用成果を試算するシミュレーション機能など、お客さまの長期的な資産形成をサポートするコンテンツを充実させました。

また、2021年7月にはグループ生命保険会社の運用を担う専門部署を設置し、グループにおける運用ノウハウの共有、スケールメリットを活かした運用効率の向上などにより資産運用の高度化を図るとともに、アセットマネジメント事業の拡大を目指してまいります。



ペット&ファミリー 損害保険株式会社

ペットの長寿化・高齢化や昨年来のコロナ禍を契機とする生活環境の変化により、ペットが動物病院で治療を受ける機会が増加傾向にあるなか、治療費用の一定割合を補償するペット医療用保険をお届けしております。2021年12月より、通院時の免責金額を設定することにより保険料水準を低く抑えた、新商品『げんきナンバーワンスマート』の販売を開始いたします。今後も、最良の商品・サービスをご提供することで、大切な家族の一員であるペットとともに過ごす充実した生活に安心をお届けしてまいります。



グループトピックス

- 3月
 - 大同生命、株式会社justInCaseと協働の中小企業支援プロジェクト「コロナ助け合い保険の無償提供」が、「Japan Financial Innovation Award 2021」特別賞受賞
 - 太陽生命、大同生命が「健康経営優良法人(ホワイト500)」に認定
- 4月
 - 「T&D保険グループESG投資方針」の制定
 - 大同生命、チャレンジ・サイドジョブ(副業)制度を導入
 - T&Dアセットマネジメント、「デジタルヘルス株式ファンド」を設定、申込受付開始
 - 「T&Dフィナンシャル生命健康宣言」の策定
- 5月
 - 元新体操日本代表の畠山愛里さんが大同生命の健康経営アンバサダーに就任
- 6月
 - グループ長期ビジョン「Try & Discover 2025」の策定
 - 第3回「プラチナキャリア・アワード」優秀賞を3年連続受賞
 - 「T&D保険グループ税務基本方針」の制定
- 7月
 - 「Try & Discoverフォトコンテスト2021 ~1枚からしあわせをつくろう。~」の開催
 - ペット&ファミリー損害保険、ご契約者さま専用サービス「マイページ」に新機能を追加(保険金のご請求に関する進捗状況の確認等)
- 8月
 - 「T&D保険グループデジタルビジョン」の策定
 - 太陽生命カップ2021「第12回 全国中学生ラグビーフットボール大会」への特別協賛
 - 大同生命所属永野美穂選手「東京2020パラリンピック競技大会アーチェリー競技」出場
- 9月
 - 太陽生命、「感染症プラス入院一時金保険」の販売件数が15万件を突破
- 10月
 - 太陽生命と大同生命、「UCDAアワード2021」の受賞
太陽生命:「情報のわかりやすさ賞」「アナザーボイス賞」を受賞
大同生命:「アナザーボイス賞」を受賞



業績ハイライト (主要経営指標)

連結主要収支*1

2021年5月14日公表の2021年度通期業績予想を次のとおり上方修正。

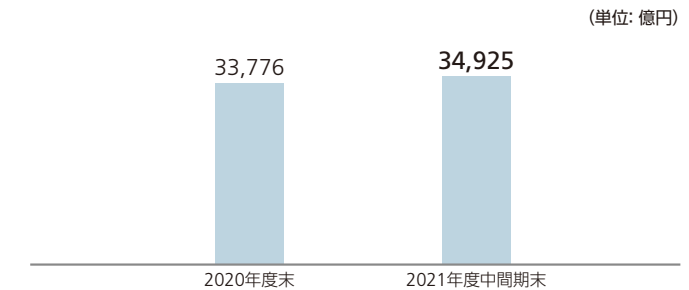
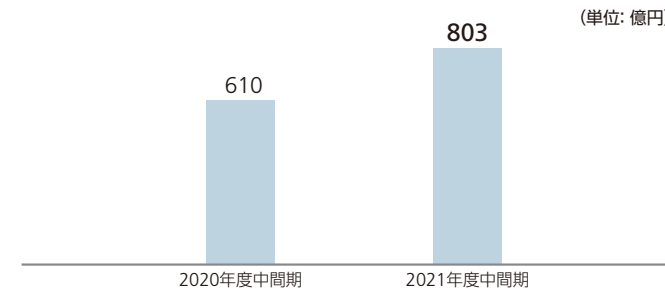
(単位: 億円)

	2021年度通期業績予想(上方修正)		2021年度 中間期	前年同期比
経常収益	21,300	→ 21,550	11,078	▲5.0%
経常利益	740	→ 990	661	▲55.9%
親会社株主に帰属する中間純利益	160	→ 360	309	▲73.1%
グループ修正利益*2	730	→ 930	557	+65.5%

グループ修正利益は、国内生命保険事業が堅調に推移したことにより、計画を上回って進捗しており、前年同期から増加いたしました。また、資産運用収益が好調に推移したことから、通期業績予想を930億円(当初予想730億円)に上方修正しております。経常収益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は、米国再保険持株会社の第1四半期会計期間(1~3月)に係る、資産と負債の会計上の処理の相違による一時的な評価性損失の発生に伴い、前年同期から減少いたしました。

新契約価値 803 億円

Group MCEV 3兆4,925 億円*1



新契約価値は、当期中に販売した新契約の価値を表したものです。中間期は生命保険会社3社の販売が好調だったことから、803億円となりました。

EV(エンベディッド・バリュー)とは、生命保険会社の企業価値を評価する指標の一つであり、MCEVは金融市場で取引される金融商品の価格と整合的に評価したEVです。中間期末では、3兆4,925億円となりました。

※1 2021年10月1日に公表しているフォーティテュード社の組織改編に伴う会計処理の遡及適用反映前の数値。
 ※2 当期純利益に対し、市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等の一部調整した経営実態を表す指標の一つ。

連結業績ハイライト

T&Dホールディングス

- ・国内生命保険会社3社合算の新契約年換算保険料は、保障ニーズの高まりに対応した対面・非対面を融合した営業の定着等により、前年同期から増加し613億円となりました。
- ・保有契約年換算保険料は前年度末からやや増加し、1兆5,388億円となりました。第三分野の保有契約年換算保険料は、引き続き堅調に推移し2,730億円となりました。

(単位: 億円)		
	2020年度中間期*1 2020年4月 1日から 2020年9月30日まで	2021年度中間期*1 2021年4月 1日から 2021年9月30日まで
契約業績(生命保険会社3社合算)		
新契約年換算保険料	484	613
第三分野の新契約年換算保険料	142	178
保有契約年換算保険料	15,354**2	15,388
第三分野の保有契約年換算保険料	2,674**2	2,730
損益関係		
経常収益	11,664	11,078
保険料等収入	8,421	8,933
資産運用収益	1,973	1,726
その他経常収益	339	417
経常費用	10,163	10,416
保険金等支払金	6,516	6,537
責任準備金等繰入額	1,787	1,929
資産運用費用	505	296
事業費	1,025	1,122
その他経常費用	328	345
経常利益	1,500	661
親会社株主に帰属する中間純利益	1,152	309
その他指標		
連結ソルベンシー・マージン比率	1,094.8%**2	1,094.1%
Group MCEV(終局金利を適用)	33,776**2	34,925

*1 2021年10月1日に公表しているフォーティテュード社の組織改編に伴う会計処理の遡及適用反映前の数値。
*2 2020年度末実績を記載。

格付け(2021年9月30日時点)

日本格付研究所(JCR) 長期発行体格付 **AA-**

業績ハイライト/子会社の状況

太陽生命

- ・第三分野の保有契約年換算保険料は『感染症プラス入院一時金保険』等の販売が引き続き好調だったことにより、前年度末から2.8%増加し1,243億円となりました。
- ・MCEVは新契約価値の着実な積み上げや外国株式等の時価上昇により、前年度末から368億円増加し1兆1,515億円となりました。

(単位: 億円)		
	2020年度中間期 2020年4月 1日から 2020年9月30日まで	2021年度中間期 2021年4月 1日から 2021年9月30日まで
契約業績		
新契約年換算保険料	146	172
第三分野の新契約年換算保険料	78	94
保有契約年換算保険料	5,897**	5,828
第三分野の保有契約年換算保険料	1,209**	1,243
損益関係		
保険料等収入	3,073	3,228
保険金等支払金	2,925	2,853
経常利益	212	203
中間純利益	84	87
その他指標		
基礎利益	292	287
順ざや額	140	191
ソルベンシー・マージン比率	852.8%**	846.3%
MCEV	11,146**	11,515

*2020年度末実績を記載。

格付け(2021年9月30日時点)

格付投資情報センター(R&I) 保険金支払能力 AA-	日本格付研究所(JCR) 保険金支払能力格付 AA-	スタンダード&プアーズ(S&P) 保険財務力格付け A
--	---	--

DAIDO 大同生命

- ・新契約高は、コロナ禍に伴い拡大する保障ニーズに対して、対面・非対面を組み合わせたコンサルティング営業を実践したことで、特に主力の定期保険の販売が堅調に推移したことにより、前年同期及び計画を上回りました。
- ・中間純利益は一般勘定運用収支の増加等により前年同期を上回り、407億円となりました。
- ・MCEVは、主力商品であるオーダーメイド型商品『Lタイプα』の新契約の着実な積み上げや、金融環境の変動により前年度末から増加し2兆1,129億円となりました。

(単位: 億円)		
	2020年度中間期 2020年4月 1日から 2020年9月30日まで	2021年度中間期 2021年4月 1日から 2021年9月30日まで
契約業績		
新契約年換算保険料	234	311
第三分野の新契約年換算保険料	63	80
保有契約年換算保険料	7,978**	7,996
第三分野の保有契約年換算保険料	1,435**	1,454
新契約高	16,551	21,121
就業不能保障商品・介護保障商品の新契約高	5,073	6,635
保有契約高	466,560**	467,697
就業不能保障商品・介護保障商品の保有契約高	110,561**	112,155
損益関係		
保険料等収入	3,924	3,931
保険金等支払金	2,517	2,552
経常利益	400	648
中間純利益	191	407
その他指標		
基礎利益	490	673
順ざや額	84	300
ソルベンシー・マージン比率	1,293.5%**	1,238.3%
MCEV	20,588**	21,129

*2020年度末実績を記載。

格付け(2021年9月30日時点)

格付投資情報センター(R&I) 保険金支払能力 AA-	日本格付研究所(JCR) 保険金支払能力格付 AA-	スタンダード&プアーズ(S&P) 保険財務力格付け A
--	---	--

T&Dフィナンシャル生命

- ・新契約年換算保険料は、一時払商品では『生涯プレミアムワールド5』が、平準払商品では『働くあなたにやさしい保険2』が牽引し、前年同期から26億円増加しました。

(単位: 億円)		
	2020年度中間期 2020年4月 1日から 2020年9月30日まで	2021年度中間期 2021年4月 1日から 2021年9月30日まで
契約業績		
新契約年換算保険料	103	129
第三分野の新契約年換算保険料	1	3
保有契約年換算保険料	1,478**	1,562
第三分野の保有契約年換算保険料	29**	32
損益関係		
保険料等収入	1,388	1,732
保険金等支払金	1,054	1,107
経常利益	△40	△1
中間純利益	△32	△4
その他指標		
基礎利益	△11	△31
順ざや額	△13	△16
ソルベンシー・マージン比率	826.8%**	857.2%
MCEV	1,081**	1,128

*2020年度末実績を記載。

格付け(2021年9月30日時点)

格付投資情報センター(R&I) 保険金支払能力 AA-	日本格付研究所(JCR) 保険金支払能力格付 AA-
--	---

会社概要 (2021年9月30日現在)

名称(商号) 株式会社T&Dホールディングス
所在地 東京都中央区日本橋二丁目7番1号
代表電話 03-3272-6110
設立時期 2004年4月1日
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日 定時株主総会において権利を行使できる株主は、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載・記録された株主といたします。

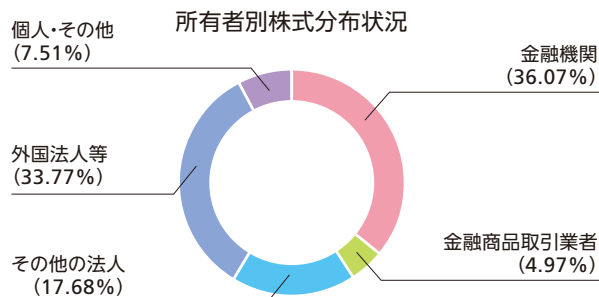
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座 東京都府中市日鋼町1-1
口座管理機関
○テレホンセンター(フリーダイヤル)
TEL 0120-232-711
(土・日・祝祭日等を除く9:00~17:00)
○郵送先
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式の状況 (2021年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数 1,932,000千株
発行済株式の総数 589,000千株
株主数 215,070名

株式分布状況



住所変更お手続きのご案内

お引っ越し等で住所が変わられた株主さまは、住所変更のお手続きをお願いいたします。右記お申し出先にご連絡いただきますとお手続きが可能です。
当社の株式を管理されている口座によってお手続きの窓口が異なります。

管理口座	お申し出先
証券会社の口座	お取引の証券会社
三菱UFJ信託銀行の口座(特別口座)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ●テレホンセンター(フリーダイヤル) TEL 0120-232-711 ●郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号



本紙は、植物油インキを使用しております。